

編集・発行 越冬隊友の会

「人生の経歴」～「はしるべき行程」～

順天堂大学 名誉教授
新渡戸稲造記念センター 長
恵泉女学園 理事長
『越冬隊友の会』顧問 樋野興夫

この度、『東村山がん哲学外来メディカル・カフェ』代表：大弥佳寿子 氏から、『越冬隊友の会ニューズレター』第13号の原稿を依頼された。今週は、『ニューズレター日の出』創刊号、『小金井カフェニューズレター』8月号、『桜の樹』ニューズレター Vol 4『空っぽの器友の会』ニューズレターが、それぞれ送られて来た。全国で、皆さまが、熱意を持って、継続的に活動されている姿には、ただただ感服である。まさに、自分の「役割と使命」の遂行である。2021年9月4日(土)、私が代表を務めるリンチ症候群研究会の『第7回リンチ症候群研究会シンポジウム 市民公開フォーラム「チーム医療でサポート！ リンチ症候群の診療」』（オンライン形式）（がん研究会有明病院）に赴いた。『病気であっても病人ではない』&『遺伝病も単なる個性である』の社会構築が人類の進む方向であろう！

私は、順天堂大学医学部の病理・腫瘍学 教授に就任する前は、大塚時代の癌研病理部 研修研究員 → ニューヨーク (New York) のアルベルト・アインシュタイン医科大学 (Albert Einstein College of Medicine) → 癌研病理部 研究員 → フィラデルフィア (Philadelphia) の Fox Chase Cancer Center → 癌研実験病理部 部長が「人生の経歴」である。私の恩師：菅野晴夫 先生 (1925-2016) と「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」が流行した時 (2002年)、海外での学会と一緒に出席させて頂いたことが、鮮明に蘇って来た。日本の参加者はほとんどがキャンセルであったが、「主催者側がキャンセルしていない以上、一度決めたことはやる」との教訓で、海外の学会に参加したものである。筆者の「病理学者」としての原点ともなった。『吉田富三(1903-1973) --> 菅野晴夫』は『「はしるべき行程」と「見据える勇気」を持って、ブレない人物』の提示であり、これこそ「コロナ時代」の訓練では なかろうか！

「オンラインで秋山隊長を想う」

がん哲学外来者シャチホコ記念 café 彦田かな子

ここ数年、コロナ感染症が世界に広がり、「人とのつながり」の大切さに多くの人が感謝し、救われていますね。私は、間違いなくその一人です。Caféの形も、対面からオンラインへと変化している地域も増えてきたように感じます。

先日、オンライン café に参加した際、ひばりが丘の田鎖さんとご一緒させていただきました。懐かしく、秋山隊長のお別れ会の光景が、お花できれいに着飾った素敵な写真が、優しいご主人のお顔が、鮮明に目に浮かびました。

田鎖さんとお話したからこそ、あんなに鮮明におしゃれて聡明な秋山隊長と再会できたことともううれしい気持ちになったのだと思っています。オンラインと田鎖さんに感謝です！

そして何より、コロナで世界が変わり、カフェの形が変わってもなお、天国から「私はここにいます！」と言ってくれる秋山隊長の大きな愛に感謝しています。

「盛夏」

東久留米がん哲学外来 in メディカルカフェ 小林真弓

暑い夏だ！マスクでこの暑さは、殺人的だ！マスクの下にあせもができ、虫に刺され、赤いポチポチがたくさん。体も、あせもだらけ。古い家の台所（キッチンとは、言えない）は、暑い！そんな台所で、「なぜお湯を沸騰させて、冷やし中華麺をゆでるんだ！」と叫んでいたら、あせもができた。でも、叫んでいたのは私だけではなかった！なんと流水麺の冷やし中華があった！水に流すこともないのだ！去年もあったのか？感謝！涼しい夕食が訪れた。今年の夏は、流水麺のそば、うどん、冷やし中華のヘビーローテーションが続く。そんな今年の夏の終わりに義母の減塩食作りがきた。今は、減塩調味料が豊富で驚くばかりだ、スーパーをはしごして色々試す。面白い！食品業界は、消費者のニーズにどんどん答えてくれる！素晴らしい！またまた、暑い台所に立つ時間が増えると思っていたら、いつの間にか季節が流れていく。秋が来た

『2021年の夏』

池袋がん哲学外来・帰宅中カフェ 角田万木

6月に一年振りのCTを撮り、4回目の再発が分かり、共存となり、6月末の卵巣がんになり丸8年は新たな再発と共に迎え、抗がん剤治療が始まりました。

コロナ禍での入院は、寝る時もマスク着用、なるべく室内で過ごすなど…お馴染みの病棟内はとても静かになっています。入院治療を続けるには、自分自身も病院に迷惑を掛けないように感染に気を付けないといけないと、ちょっと神経質になったりもします。

7月は外来や入院が、大好きな太極拳&気功の日と重なり行けなくて、治療が中心の生活になってしまった気がしました。

命は大切だけど、治療だけの人生は悲しい…少し我が儘になってしまおうと思いました。自分の好きな事を優先し、楽しみながら治療を続けていきたいと思います。

カフェなど行ける場があるのも嬉しく励みになっています。

まずは夏の夕暮れ、暑さが和らぐ夕方に夫と買い物がてら、お花探しなどを楽しみたいと思います。



<編集後記> 東村山がん哲学外来メディカル・カフェ

大弥佳寿子

気付けばもう秋ですね。7月の初めに我が家に新たな家族がやってきました。子猫の雄で「ムーン」といいます。やんちゃですが、眠る姿に和みつつ動物から学んでいます。

「越冬隊友の会」連絡先：大弥佳寿子

TEL042-395-2140 kzoya@aa.bb-east.ne.jp

後援：一般社団法人がん哲学外 <http://www.gantetsugaku.org/>